

令和4年度研究デザイン 亀山市立昼生小学校

教育大綱 基本方針—1

未来を拓く子どもたちの豊かな学びの実現

亀山市教育関係職員 研修基本方針

「一人ひとりの児童・生徒が個性を生かしながら
なかまとともに主体的に学ぶために」

- (1) すべての子どもの学ぶ意欲を高め、社会で生きてはたらく「確かな学力」を育てる教育活動をすすめる。
- (2) 教師の授業力向上を追求するとともに、系統的な指導をすすめる。
- (3) 人権を尊重し、なかまとともに、豊かな心と身体をはぐくみ、自己肯定感・自己有用感を高める教育活動をすすめる。
- (4) 地域の人材や活動を活用し、地域とともに特色ある教育活動をすすめる。

I. 学校教育目標

「心豊かなたくましい昼生っ子の育成」
～ともに学び、楽しさを実感できる教育の推進～

II. 昼生小学校研究主題

「ともに高め合う子どもの育成」
～ つなげる・広がる話し合い活動を通して ～



研究主題設定の理由

① 児童の実態

他学年との交流も多く、児童会などを中心に学校をより良くする活動を考えたり、それを守ろうとしたりする規範意識の高い児童が多い。学級の人数が少なく、同じ集団の中で過ごしてきているため、正しい言葉でなくても話の内容をくみ取り、そのまま話を進めてしまう場面が見られたり、児童間の人間関係が密で固定的になりやすかったりする。授業においては、ペアやグループ活動は得意だが、全体場で自分の考えを発表することに苦手意識をもっている児童が多い。そのことから、発言する児童が偏ったり、全体交流の場に参加しにくかったりする児童もいる。さらに、考えはもっているものの、自分の考えを分かりやすく説明する力がまだまだ弱い。指示語が多くなったり、身振り手振りが多かったりする児童もいる。そのため児童同士が言葉を補い合いながら、つなげ合う話し合い活動が必要である。

② これまでの取り組み、成果と課題

これまで、事前学習を生かした授業の研究を行ってきた。事前学習に取り組むことで、自分の考えに自信をもって授業に臨んでいる児童の姿がみられるようになった。また、なぜそのように考えたのかという理由も、時間をかけて考えてくることで、順序立てて説明しようとする児童の育成につながった。しかし、自分の考えを発表することはできたが、全体場での交流で、なかなか活性化した話し合い活動にまでいかなかったという課題が残った。

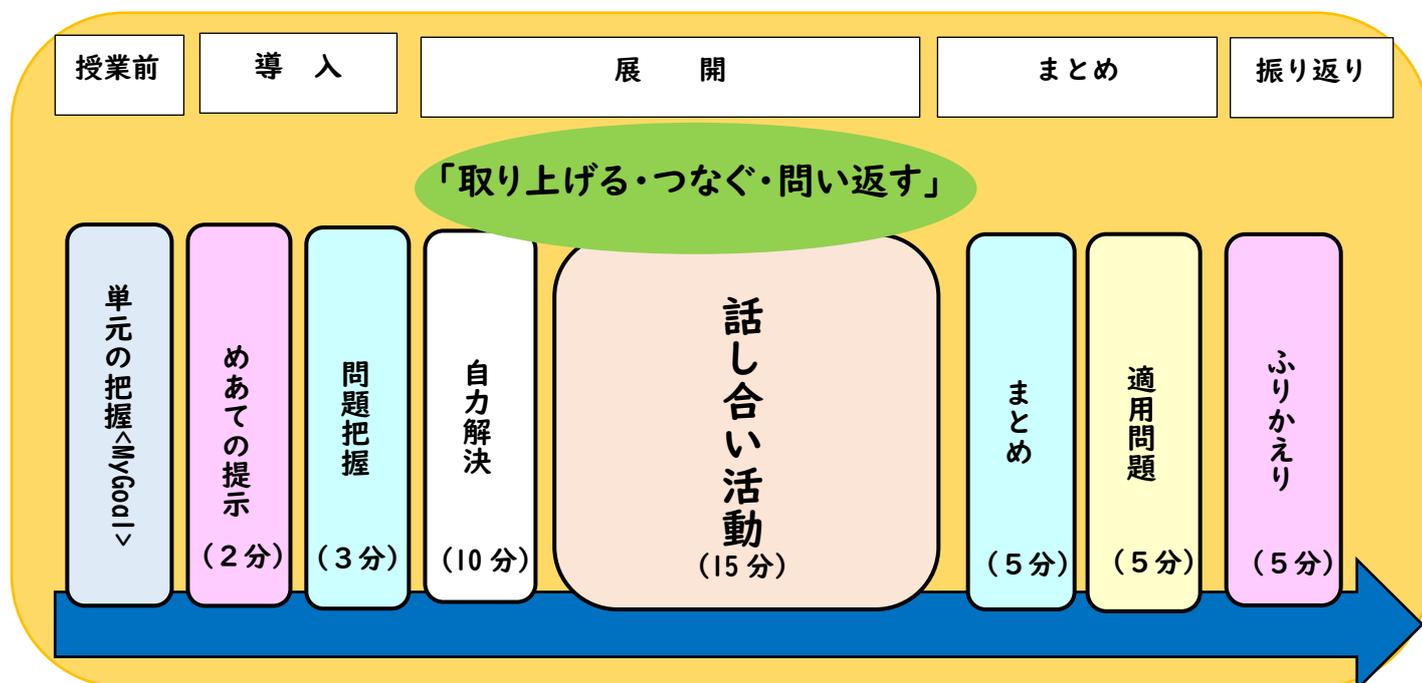
研究主題について

上記のような実態を踏まえ、今年度も話し合い活動に焦点を置いて取り組む。「ともに高め合う」姿を、自ら考え伝え合いより良い解決に迫る姿と捉え、児童に活発な話し合い活動をうながすことができるように「つなげる・広がる」を合言葉に、研究を進めることにする。話し合い活動の中で、具体的にどのような反応や意見を「取り上げ・つなぎ・問い返す」のかを教師が考え、ともに高め合う話し合い活動のしかけについて深く研究をすることとする。そして、異なる考え方が組み合わせり、よりよい学びを生み出す協働的な学びを重視し、子どもが主体的に問題を解決する授業づくりを目指していく。

また、充実した教材研究やタブレット端末の活用を進めていく中で、「主体的・対話的で深い学び」につながるよう、どのような実践を行うと子どもたちが主体的になり高め合っていけるか、子どもの言葉でつながり思考を広げられるかを試行錯誤しながら研修を深めていきたい。

Ⅲ. 研究領域 算数科

Ⅳ. 指導過程





教育大綱

昼生小学校 学校教育目標

中学校区 研究主題

自他を認め、ともに学び合い、高め合う児童・生徒の育成

昼生小学校 研究主題

「ともに高め合う子どもの育成」

～ つなげる・広がる話し合い活動を通して ～

授業づくり

- ・個を大切にした指導
- ・協働し、解決する活動
- ・「わかる授業」づくり
- ・つきたい力を明確にした授業づくり
- ・見通しをもった授業づくり
- ・きく姿を大切にした指導

課題に向き合い
自ら考える力

自分の思いや考えを
表現し、伝え合う力

よりよい解決を目指し
て協働し、高め合う力

学習環境づくり

- ・朝の学習（英語・国語・HGT・読書）
- ・補充学習日の設定（水曜日の5限目に実施）
- ・家庭学習の定着
- ・自主学習、作文指導の継続
- ・生活習慣の確立
- ・読書活動の充実

教材との出会わせ方
教師と子どもの関わり方
子どもと子どもの関わり方

仲間づくり

- ・安心して過ごせる仲間づくり
- ・認め合い、つながり合う仲間づくり
- ・話したい、ききたいと思う場づくり
- ・コミュニケーション力の育成
- ・実態把握、子ども理解
- ・人権教育の推進



具体的な取り組み

授業づくり

見通しをもった授業計画…MyGoalの活用

1時間の授業構成がわかる板書の工夫(めあて、問題、話し合い、まとめの提示)

子どもの学習意欲がわく問題の設定

話し合い(つなげる・広がる)活動の充実

- ・子どもの興味、関心を引き付ける導入
- ・「取り上げる・つなぐ・問い返す」活動のしかけづくり
- ・タブレット端末の活用

The screenshot shows the 'MyGoal' software interface. At the top, it displays 'MyGoal' and a date range '月 日 ~ 月 日' and '教科書 P. ~ P.'. Below this, there are several sections for lesson planning:

- 1. 立体的体積について理解し、体積の求め方を工夫して考えることができる。 (Understanding 3D volumes and finding ways to calculate volume.)
- 2. 今まで学習したこと、これから学習すること。 (What you have learned so far and what you will learn next.)
- 3. 自分の学習の見通しをもちましよう。 (Let's have a vision of our own learning.)

At the bottom, there is a table for lesson planning:

時間	学習内容	できる(分かる)ようになりたいこと	◎○△▽
①	P16~18		◎
②	P19~20		○
③	P20~23		△



学習環境づくり

朝の学習(英語・国語・HGT・読書)

補充学習日の設定(水曜日の5限目に実施)

- ・e ライブラリを活用した既習の定着

家庭学習の定着

- ・「家庭学習の手引き」を配付し、家庭学習への理解、協力を呼び掛け
- ・「音読、計算、漢字」と自主学習や作文の導入
- ・タブレット端末を使用した家庭学習



自主学習、作文指導の継続

- ・10チャレ(児童会主体の取り組み。家庭で10分間自主学習に取り組むことで学習の定着を図る)
- ・自主学習の紹介コーナーの設置と、手本となるノートの紹介
- ・原稿用紙の正しい書き方の定着、書く力の育成

生活習慣の確立

- ・家庭と連携した「健康 GET!」の実施
- ・自己管理能力の向上

読書活動の充実

- ・学校司書及び学校図書館アドバイザーと連携した読書指導
- ・図書ボランティア及び教職員によるわくわく読み聞かせ
- ・10分間読書ウィーク



仲間づくり

人権学習の充実

- ・QU・人権・いじめアンケート、「先生と話そう会」の実施
および学級づくりに活かすための分析・交流
- ・支援を要する児童の共通理解
- ・教育相談の実施
- ・縦割り班活動の充実

